

大学名	奈良先端科学技術大学院大学		
University	Nara Institute of Science and Technology		
学部/研究科	先端科学技術研究科		
Faculty/Department	Graduate School of Science and Technology		
研究指導者	松本 健一	職名	教授
Research Advisor	Kenichi Matsumoto	Position	Professor
帰国留学生	パサコーン パンナチッタ		
Former International Student	Passakorn Phannachitta		
派遣期間	2018年8月22日 ~ 2018年8月28日 (7日間)		
Period of Stay	7 days (August 22, 2018 - August 28, 2018)		

< 帰国留学生プロフィール/Profile >

国籍	タイ
Nationality	Thailand
所属機関	チェンマイ大学, 芸術メディア技術校・講師
Affiliation	Lecturer, College of Arts, Media and Technology, Chiang Mai University
現在の職名	講師
Position	Lecturer
研究分野	ソフトウェア工学
Major Field	Software Engineering



Passakorn Phannachitta

< 研究指導者からの報告/Research Advisor Report >

① 研究指導概要 / Outline of Research Guidance
<p>対象帰国留学生が、これまでの研究を継続しつつ、母国タイ国内でも教育者・研究者として高く評価され、国際的にも活躍できるよう、具体的な研究題目の設定と教育研究の体制作りについて指導を行った。具体的には、対象帰国留学生の博士論文研究である「ソフトウェアの定量的開発管理技術」を、タイでも盛んになりつつある「ソーシャルコーディング」と結びつけることで、タイ国内の企業から注目され、多くの学生も興味を持つ研究へと発展する端緒とした。また、タイ諸大学における教育研究活動の現状について聞き取りを行い、対象帰国留学生ひとりでは活動に限界のあることを説明し、チェンマイ大学に限らずタイ諸大学、更には、日本や他の国の諸大学の教員等との教育研究連携の重要性を説き、その具体的なイメージを示した。</p>
② 研究指導の成果 / Results of Research Guidance
<p>対象帰国留学生が、ソーシャルコーディングと自身のこれまでの研究との親和性の高さを即座に理解し、特に、チャットボットを用いた支援技術は企業でも役に立つ実践的なものであり、かつ、チェンマイ大学学部学生も興味を持ち取り組めるものであると考えたことから、その開発を今後の具体的な共同研究課題の一つとすることとした。母国チェンマイ大学に着任して間もない対象帰国留学生には、直接指導する学生の数が少ない状況が今後もしばらく続くことが分かった。そこで、チェンマイ大学に限らずタイ諸大学の教員、特に、大学学部における指導教員との連携を一つの核として教育研究連携のネットワークを広げていくことをアドバイスした。また、学生交流を核とした教育研究連携の一つとして、チェンマイ大学学部生を奈良先端科学技術大学院大学（本学）でインターン生として受入れるプログラムを来年1月より開始することとした。</p>
③ 訪問大学等での学術交流 / Scholarly Exchanges Done at Universities Visited, etc.
<p>訪問大学であるチェンマイ大学芸術メディア技術校において、学部生50名余りを対象とした特別講義「ソフトウェア工学研究のトレンド、チャットボットの活用」を行った。また、同校の学部長をはじめとする教員に対して、日本における大学院大学の位置づけや特徴、また、本学における教育研究、学生生活、留学生受入れ状況等について紹介すると共に、今年1月に締結した学術交流協定に基づく学部学生のインターン生としての受入れ、同校教員の博士後期課程への受入れ等、今後の両校間での学術交流について意見交換を行った。</p> <p>訪問大学であるカセサート大において、今年6月から8月にかけて同校から本学で受け入れたインターン生の成果報告セミナーに参加し、その活動や成果について、同校の副学長や工学部長をはじめとする教員と情報共有、および、意見交換を行った。更に、タイと日本の大学の間での学術交流をより一層推進することを目的として、同校をはじめとするタイ諸大学と本学の間で実施している学術交流の活動や成果を、タイ国内の教員や学生に対して情報発信するための研究集会（ワークショップ）を定期的に開催することについて意見交換を行い、基本合意に至った。</p> <p>バンコク市内で開催されたJASSO日本留学フェアにおいて、フェア来場者に対して、本学の入試制度、奨学金、タイ諸大学からのインターン生の受入れや入学の実績などを紹介した。また、今年12月から翌2月にインターン生として受入れるマヒドン大学生候補者2名へのインタビュー（参加動機や研究テーマの確認）を行うと共に、同大学の教員と、今後の学術交流についての意見交換を行った。</p>

<帰国留学生からの報告/Former International Student Report>

①研究指導の成果 / Results of Research Guidance

具体的な研究課題「開発管理ノウハウを有するチャットボットの開発」を設定することができた。また、チェンマイ大学に限らずタイ諸大学、更には、日本や他の国の諸大学の教員等との教育研究連携を深めることが、国際的に活躍する教育者・研究者として不可欠であることを再認識し、その具体的なイメージを持つことができた。

②今後の計画 / Further Research Plan

本研究指導者との共同研究を積極的に行っていくが、特に、来年1月から約12週間、学部生2名をインターン生として、本研究指導者が所属する奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科ソフトウェア工学研究室に派遣することで、共同研究の推進を図ると共に、継続的な教育研究連携の仕組みづくりに取り組む。

③本事業に対する意見・感想等 / Your general impression and opinion about the Follow-up Research Guidance

母国に帰国し大学教員の職に就いて間もないこの時期に、こうした研究指導を受けることは非常に有意義であった。特に、母国大学の事情も少しずつ分かり始め、研究者としてだけでなく教育者としてもこれからどうしていくべきか、その具体的なイメージを持つことができたのは、大変ありがたい。



対象帰国留学生への研究指導



チェンマイ大学学部学生への特別講義



JASSO日本留学フェアでの大学紹介



カセサート大工学部長への表敬訪問